

オープンプラン3年生 算数

「円と球」

～ズルい人がある！～

オープンプラン3年生の授業では、
円と球の学習に入りました。

この日から新しい学習に入ったので、
円の性質に迫ることを目的に

クラスみんなで

輪投げならぬ

“おはじき投げ”を行いました。

とは言っても、

輪になって行うわけではありません。

「この線の周りに並びましょう。」



みんな、かごの近くに位置取ります。
でも・・・

「体操の隊形にひらけ！！」

えー！！！！



こんなの無理じゃん！
ずるい！！
子どもたちの声が飛び交います。

「せーの！！」



「入らなかった人は座りましょう。」



「お隣に引っ越してもう一回！」



何回も行おうちに、

こんなの近くの人が有利に
決まってんじゃん！

遠いと入らないって！

子どもたちがルールに不満を
言っています。

「何がいけないの？」

みんなに問いかけると、

遠いところと近いところがある

と言います。

ここから



ここまでが



思ったよりも遠いから、
近い人が得をしている。

みんながうなずきます。

「じゃあ、ズルい人がいないようにするためには
どんな形でおはじき投げをすればいいかな？」
「まずは2、3人版から考え始めてもいいよ。」

ここからは個人活動です。
2人なら向かい合えば平等にできるぞ
4人でも正方形なら平等にできそうだ



子どもたちは色々なアイデアを考えています。

正方形でやれば、人数が増えても
誰もズルくない！



あれ？

でも角っこにいる人が遠いな…

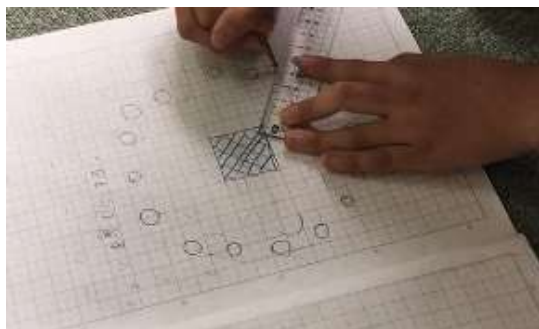
ああでもない

こうでもない、

試行錯誤を重ねます。

そんな中

黙々と、カゴから同じ距離の所に
並べている子。



なんか、円っぽくなってきた！

そうです。
中心から同じ距離に
たくさん点を取ると、
円のように見えてくるのです。
すなわち、円の半径です。

子どもたち一人一人が、心から
ズルい！
このルールじゃだめだ！
と感じていたので、
どんどんアイデアを生み出せます。

心から感じることで
強烈な印象や感動になる
ひいては、もっとやりたい！が生まれる

オープンプランの算数では、
そんな子どもの姿を追い求めて
毎日の授業に取り組んでいます。